

はもりあシンポジウム「先進企業に学ぶ！働きやすい 職場づくり」

本市では、市内企業で働く従業員のワーク・エンゲージメントの創出や男女がともに働きやすい職場づくりとは何かを考えるシンポジウムを開催しました。

シンポジウム の内容

日時 令和6年8月27日（火）13:30～16:30

場所 四日市商工会議所1階ホール

(1) 基調講演 講師 瀬地山 角さん（東京大学 大学院総合文化研究科 教授）
演題「笑って考えるワーク・ライフ・バランス～エースの連投が職場を破壊する～」

(2) パネルディスカッション

「先進企業に学ぶ！男女がともに働きやすい職場づくり」

パネリスト 株式会社PlanB、キオクシア株式会社四日市工場

フレッシュ物流株式会社、四日市大学

コーディネーター 株式会社デルタスタジオ 若林 辰也さん

当日の報告

第1部の基調講演では、東京大学大学院総合文化研究科教授の瀬地山 角（せちやま かく）さんにご登壇いただきました。性比の歪みが結論を歪めること、ワーク・ライフ・バランスは女性だけの問題ではないこと、みんなが時間の制約を持って仕事に取り組むことが必要であることなどを、お話いただきました。

第2部では、四日市市「男女がいきいきと働き続けられる企業」表彰の受賞企業3社から、企業の取り組み内容について5分程度発表いただいた後、四日市大学の特任教授を加えた4名でパネルディスカッションを実施しました。ファシリテータの若林さん主導の元、企業における女性管理職の登用、男女の賃金格差解消に向けた雇用形態や職場環境づくり、「男女がともに働きやすい職場づくり」とはどのようなものであるべきか等について、議論が交わされました。

シンポジウム参加者からは、「女性の採用であったり、仕事について考えるきっかけになった」「企業様の取り組みが参考になりました」といった感想をいただき、働きやすい職場づくりについて考える良い機会になりました。

